教育委員会だより
さいたま
～Well-being 実現のために ～

第52号
発行日：令和8年10月20日（火）
発行　：さいたま市教育委員会

学びがつなぐ　人・まち・未来

教育長メッセージ

互いに尊重し合い、よりよい学校づくりを



教育長　竹居秀子

芸術の秋、スポーツの秋、読書の秋。秋には「〇〇の秋」と表現される言葉が数多くあります。厳しい暑さを乗り越え、過ごしやすく落ち着いた気候の中で、物事にじっくり取り組める季節だからかもしれません。また、新年度の慌ただしさがひと段落し、それぞれの環境に慣れて力を発揮できる時期を迎えていることも理由の一つでしょう。市立学校においても、体育祭や運動会、文化祭をはじめ、運動部の大会や文化部のコンクール、校内音楽会、図書委員会による読書週間など、子どもたちが学びや活動の成果を発揮する機会が数多く設けられています。

このように、子どもたちの学びを支える学校は、知識や技能を身に付けるだけでなく、人との関わりを通して豊かな人間性を育む場でもあります。そして、その教育活動は、保護者や地域の皆様をはじめ、多くの方々の支えによって成り立っています。私は、子どもたちの健やかな成長のためには、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たしながら、同じ方向を向いて歩んでいくことが何よりも大切であると考えています。そのためには、互いを尊重し、安心して対話できる信頼関係を築いていくことが欠かせません。近年、こうした環境づくりの重要性は社会全体で広く認識されるようになり、働く人を守るための取組も進められています。令和7年6月には労働施策総合推進法が改正され、この10月から事業主に対してカスタマーハラスメントへの対応が義務付けられることとなりました。また、埼玉県ではカスタマーハラスメント防止条例が、本市においても、基本方針が施行されるなど、誰もが安心して働ける環境づくりに向けた動きが広がっています。 （※2ページ目に続く）

教育長フォトレポート

教育長が参加した行事の模様や
活動の様子などをお伝えします。



※詳しくは教育長フォトレポートで検索⇒こちら

こうした流れを受け、教育委員会では、このたび「さいたま市立学校におけるカスタマーハラスメントへの対応に関する指針」を策定しました。しかし、この指針の目的は、市民の皆様との間に線を引くことではありません。むしろ、学校と家庭、地域との信頼関係をより深め、子どもたちを支える環境を整えることにあります。学校には、保護者や地域の皆様から日々様々な御意見や御要望が寄せられています。

子どもたちを思う声や、学校をよりよくしたいという思いから寄せられる御意見は、教育活動を改善し、学校を成長させる大切な力です。教育委員会としても、そうした皆様の声にこれまで以上に真摯に耳を傾けてまいります。

一方で、教職員が対応可能な範囲を超える要求や言動により、長時間にわたり対応に追われたり、一人で悩みや課題を抱え込んだりすることで、本来子どもたちに向けるべき時間やエネルギーが失われてしまうことがあります。教職員が安心して業務に専念できる環境を整えることは、教職員を守るためだけではなく、結果として子どもたちの学びを守ることにつながります。子どもたちの健やかな成長のためには、学校、家庭、地域がそれぞれの役割を理解し、互いに尊重しながら力を合わせていくことが大切です。今回の指針は、そのような信頼関係に基づく協力体制をより確かなものにするための土台となるものです。

子どもたちの幸せを願う気持ちは、学校も、家庭も、地域も同じです。その思いを実現するためには、互いの立場を尊重しながら対話を重ねることが欠かせません。教育委員会では、これからも保護者や地域の皆様との信頼関係を大切にしながら、学校・家庭・地域が力を合わせ、子どもたち一人ひとりの笑顔と成長を支える学校づくりを進めてまいります。

コラム

縄文の耳飾りが伝えてくれるもの



真福寺貝塚から出土した縄文時代の耳飾り（岩槻区）

先日の教育長定例記者会見では、真福寺貝塚（岩槻区）から出土した縄文時代の耳飾りを紹介しました。

「それを身に着ける人がより美しくあるように」、そんな作り手の思いが、数千年という長い時を超えて、今を生きる私たちの心にも響いてくるようです。

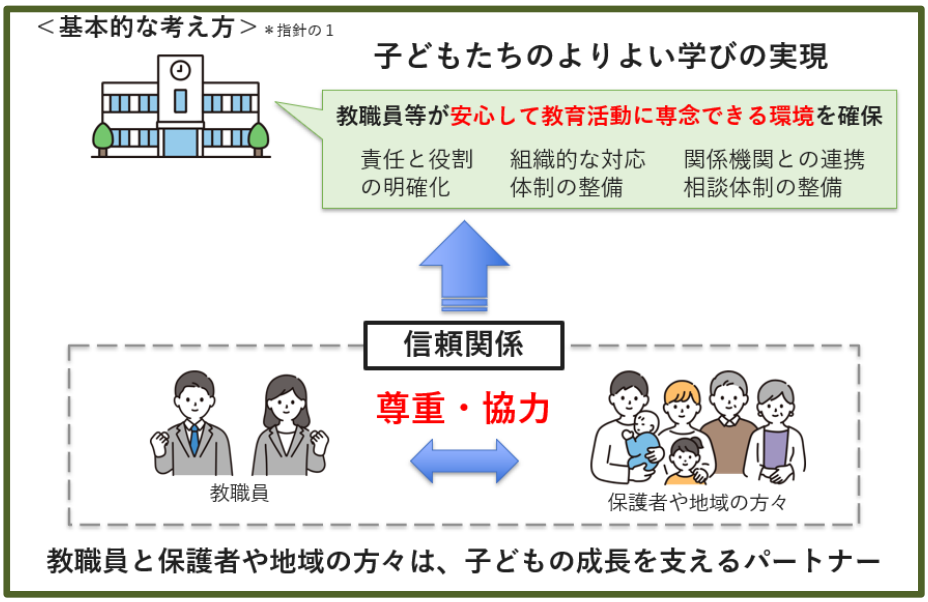
縄文時代には、図工や美術の授業はありません。しかし、人々は自然への畏敬の念を抱き、仲間とのつながりの中で学び合い、技術や知恵を受け継いできました。狩りや採集、土器づくりといった生活の技術だけでなく、土偶や装飾品などに豊かな思いや感情を表現する力も磨いてきたのでしょう。

その積み重ねの中から生み出されたものの一つが、この美しい耳飾りです。縄文の人々もまた、生涯にわたって学び続けていたのではないでしょうか。耳飾りは生きていく上で欠かせないものではなかったかもしれません。それでも人々が美しさを求め、心の豊かさを大切にしたからこそ、今日まで私たちを魅了する文化が生まれたのだと思います。

さいたま市立学校におけるカスタマーハラスメントへの対応に関する指針を策定しました

教職員人事課　☎:048-829-1654

学校と家庭・地域が互いに尊重し協力し合える関係づくりに向けて



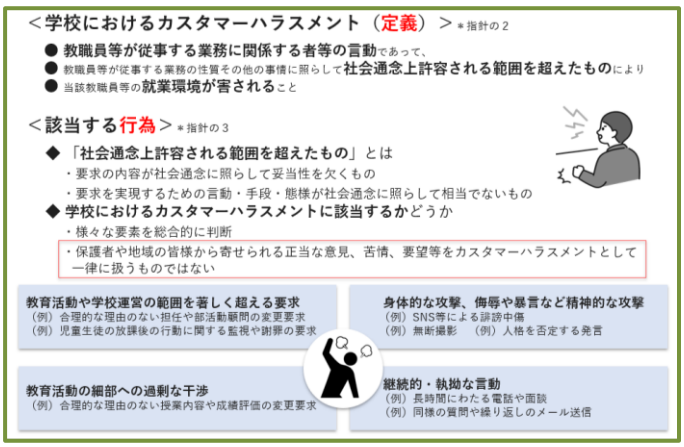
「労働施策総合推進法」の改正により、令和8年10月1日から、すべての事業主にカスタマーハラスメントへの対応が義務化されることになりました。

こうした全国的な流れを踏まえ、教育委員会では、このたび「さいたま市立学校におけるカスタマーハラスメントへの対応に関する指針」を策定し、10月1日から施行しました。

本指針は、保護者や地域の皆様との間に線を引くためのものではありません。保護者や地域の皆様からの御意見や御要望は、学校にとって大変重要なものであり、それらをしっかりと受け止め、互いに尊重し、対話を重ねながら、協力して子どもたちの教育を支えていくことが大切であると考えております。

一方で、一部には、学校として「対応可能な範囲を超える要求や言動」により、教職員に大きな負担が生じているケースもあります。

そこで、教職員等が安心して教育活動に専念できる環境を確保するため、「基本的な考え方や対応の在り方」を示したものが、本指針です。





学校におけるカスタマーハラスメントに該当する行為があった場合には、指針に基づき対応をしていきます。

学校と家庭・地域が互いに尊重し、協力し合うことで、子どもたちのよりよい学びを支えていきましょう。

【参考】 https://www.city.saitama.lg.jp/006/014/008/003/015/006/p134044.html



国史跡真福寺貝塚発掘調査開始100周年記念シンポジウム開催
真福寺貝塚で出土した貴重な耳飾りを公開

文化財保護課　☎：048-829-1724

開催日　11月14日（土）

時　間　10時～16時
（受付は9時30分から）

場　所　埼玉会館　小ホール
（浦和区高砂3丁目1-4）

定　員　400名（当日先着順）



●日時　令和８年11月14日（土）
10時～16時
（受付9時30分～）

●会場　埼玉会館　小ホール
さいたま市浦和区高砂3丁目1－4　1F
浦和駅西口より徒歩6分
（公共交通機関をご利用下さい）

●定員　４００名（当日先着順）
※参加費無料

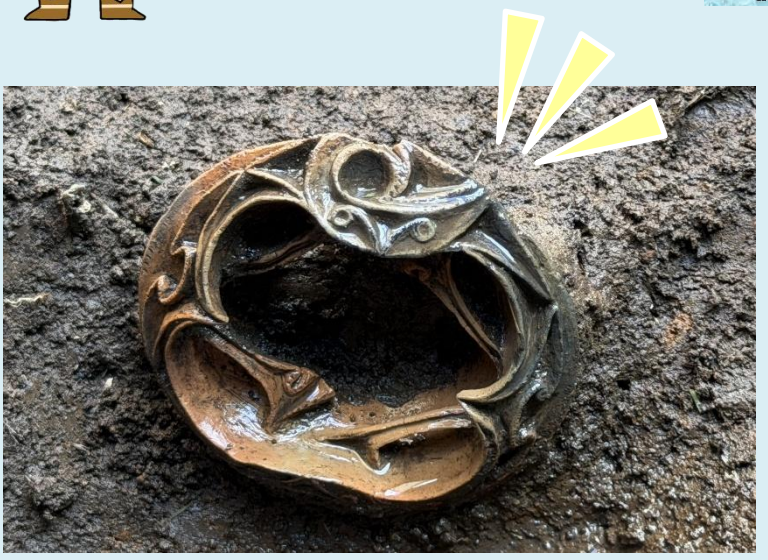
●協力　明治大学資源利用史研究クラスター

関連イベント
真福寺貝塚現地見学会
●日時：令和８年12月５日（土）
午前の部　１０：００～１１：３０
午後の部　１３：３０～１５：００
●会場：国指定史跡 真福寺貝塚
（さいたま市岩槻区城南二丁目２５１番地付近）

主催：さいたま市教育委員会
お問合せ：生涯学習部文化財保護課　TEL：048-829-1724　FAX：048-829-1989



真福寺貝塚にかかわる最新の研究成果を紹介します！



約2,900年前の貴重な耳飾りが出土しました！



透かし彫りが施された精巧なつくりの耳飾りです。
11月14日のシンポジウムで初めての一般公開を行います！ぜひ、ご覧ください。

「さいたま市生涯学習学びのネットワーク」を開催中です

生涯学習振興課　☎:048-829-1704

生涯学習学びのネットワークとは

市内の生涯学習関連施設等において、同じテーマに沿った展示や講座を一斉に開催する取組です。開催期間中は参加施設を巡るデジタルスタンプラリー及びシールチャレンジを同時開催。ご応募いただいた方の中から抽選で賞品をプレゼントします。開催期間：令和8年9月15日(火)～11月23日(月・祝)

New デジタルスタンプラリー・シールチャレンジとは



各参加施設を巡って学びを深めながらスタンプ・シールを集めることで、抽選に応募できるイベントです。応募締切：令和8年11月30日(月)

【デジタルスタンプラリー】

「さいたま市みんなのアプリ」を活用し、施設に設置された二次元コードをアプリで読み取り、各施設のクイズを楽しみながらスタンプを獲得します。スタンプを3つ集め、アプリ内のアンケートフォームに必要事項を入力することで抽選に応募できます。また、参加者の中でアンケートに回答された方には「たまポン」をプレゼントします（規定数を超えた場合は抽選）。

【シールチャレンジ】

シールを3枚集め、チラシに付いているハガキに、必要事項をご記入のうえ、集めたシールと切手を貼って投函することで抽選に応募できます。

賞品について

市内施設の入館券が各コース10名様、合計30名様に当たります。

- **A賞 宇宙コース**（青少年宇宙科学館・宇宙劇場の入館券）
- **B賞 アートコース**（埼玉県立近代美術館・うらわ美術館の入館券）
- **C賞 文化コース**（大宮盆栽美術館・岩槻人形博物館の入館券）



チラシは各施設で配布しています。

参加施設や展示・講座の内容、デジタルスタンプラリー・シールチャレンジへの参加方法の詳細などは、市ホームページをご確認ください。

学びのネットワーク　検索

「さいたま市生涯学習フェスティバル」を開催します

生涯学習振興課　☎:048-829-1704

日程　令和8年10月25日（日）13時00分－17時30分

会場　与野本町コミュニティセンター

概要　令和3年度に策定した**「さいたま市生涯学習ビジョン」**を多くの方に知っていただき、学びの持つ可能性を市民の皆様と共有することを目的として開催するイベントです。

内容

CHECK　01 生涯学習ワークショップ（要申込）

生涯学習人材バンク登録者による、楽しみながら学べる8種類のワークショップを開催します。

CHECK　02 生涯学習PRスペース（申込不要）

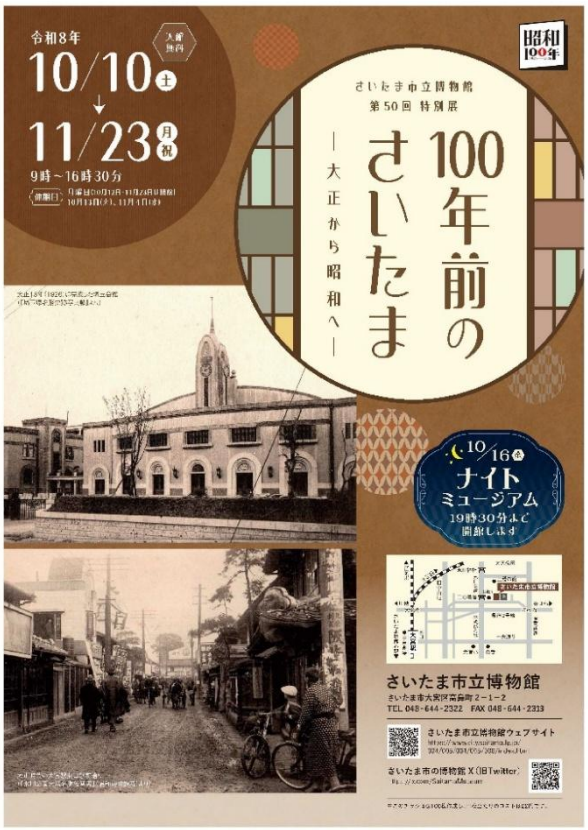
さいたま市の生涯学習に関する情報の提供や、生涯学習人材バンクの登録者が自身の知識や技能等を来場者に直接PRするPRスペースを開設します。

※ワークショップの事前申込は10月4日で受付を終了しました。
※一部のワークショップでは、参加者の追加募集や当日参加の受付を行う場合があります。最新情報は生涯学習情報システムでご確認ください。



さいたま市立博物館 第50回特別展『100年前のさいたま―大正から昭和へ―』開催

博物館　☎:048-644-2322



さいたま市の「100年前」1926年頃の出来事を紹介

当時の「浦和絵描き」名作を展示！





100年前の人々の写真もたくさん

資料や地図、写真などを通して「昭和」が始まった時代を振り返り、現代のさいたま市がどのように形成されてきたのかについて考えるきっかけとなる展示を開催します。

さいたま市立博物館

キミも宇宙飛行士に！『宇宙のまち　さいたま』フォーラム開催！

青少年宇宙科学館　☎:048-881-1515

見て・体験して・宇宙ミッションに挑戦！
～「宇宙のまち　さいたま」～展

挑戦・学ぶ・体験をキーワードに、宇宙飛行士を目指すべく、期間中は色々なミッションに挑戦できます！

企画展

10/24（土）～11/23（月・祝）

目指せ宇宙飛行士！

ホワイトパズルやロボット操作に挑戦！
宇宙飛行士に必要な力を身につけよう！

訓練生に変身！







講演会

11/14（土）

最新の宇宙情報を学ぼう！
宇宙を目指す子どもたちの発表に注目！



第1部　ＪＡＸＡ講師講演

探査機「はやぶさ２」と「ＭＭＸ」で探る太陽系の謎

第２部　スペースコース受講生によるプレゼンテーション

「2060年の宇宙旅行をプランニングしよう」

生涯学習情報システムより
１０/２７（火）までに申込みください

ワークショップ

11/15（日）
10:00～11:45、13:00～14:45

参加費無料・申込不要！

VR体験や水ロケット体験、マーブリングなど、楽しいワークショップが沢山！



「Saitama X 探Q Fes（さいたま クロス たんきゅう フェス）」を開催しました

高校教育課　☎:048-829-1671

市立高等学校・中等教育学校生が探究成果を発表！

Saitama X 探Q Fesを開催しました

高校生の
探究が、
さいたまの未来を
つくる



市内の高校生・中等教育学校の生徒が集まり、探究学習の成果を発表しました

10月10日（土）、さいたま市立大宮国際中等教育学校を会場に、第1回「Saitama X 探Q Fes」を開催しました。
本事業は、市立高等学校・中等教育学校の生徒が、自ら設定した課題について探究した成果を発表し、学校の枠を越えて学び合うことを目的とした交流イベントです。
当日は、浦和高等学校、浦和南高等学校、大宮北高等学校の生徒が参加し、環境問題や地域社会、教育、科学技術など、それぞれの探究活動について発表を行いました。多様なテーマが発表され、小中学生や保護者、教職員や地域の方々等、多くの参観者も熱心に耳を傾け、意見交換を行いました。

ＡＩ深化交流セッション

生成AIを活用し、対話を通して考察を深めました

発表後には、生成AIを活用した「AI深化交流セッション」を実施。生徒たちは各テーマについて対話を重ねながら考察を深め、研究内容への質問や助言を通して新たな視点を得ていました。
学校の枠を越えた交流を通して、多様な価値観や考え方に触れる貴重な機会となりました。

参加した生徒の声



他校の探究に触れ、自分の研究を見直すきっかけになった



異なる視点からの質問によって、新たな気付きが得られた

これからも、探究する学びを応援します

今後も生徒一人ひとりの主体的な学びを支え、探究的な学びの充実と学校間交流の推進を図ってまいります。